

日本・ルーマニア・ドイツ・
Socialist Cultures in Japan,
中国・ソ連における
Romania, Germany, China,
社会主義と文化交流の
and the Soviet Union:
ネットワーク：
Connecting the Dots
文学、舞台演劇、映画

【講師】

報告：田村容子、ヤコブ・ヴィヴィアナ、和田崇

コメント：石川禎浩、尹芷汐

司会：パシュカ・ロマン、ホルカ・イリナ

2018年7月21日(土) 13:30-18:00

京都大学人文研本館、セミナー室1

主催 | 京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902 (平日9:00~17:00)

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

予約不要
聴講無料

人文研アカデミー2018



日本・ルーマニア・ドイツ・中国・ソ連における 社会主義と文化交流のネットワーク：文学、舞台演劇、映画

Socialist Cultures in Japan, Romania, Germany, China, and the Soviet Union: Connecting the Dots



文学や舞台芸術は社会主義圏内・外にいかに通じ、受容・改変されてきたか。本シンポジウムでは、この問いに答えるために、様々な国において形成された「社会主義文化」の位相やそれを支える政府・民間のネットワークに焦点を当てる。戦前期のドイツにおける日本のプロレタリア文学の紹介状況や、中国におけるソ連と日本の社会主義バレエの伝播の過程、そして日本におけるルーマニア演劇の上演と共産主義政権の文化政策の関係についてそれぞれの専門家に報告をいただいたのち、ディスカッションのコメントを引き金に、政治と文化の形態・文化の越境性について、現代のグローバル社会に通じる議論を展開したい。

発表者



和田 崇 (わだ・たかし)

三重大学 教育学部 准教授
日本近代文学(日本プロレタリア文学研究)
主著:「日独プロレタリア文学の往来: 雑誌『Die Links-kurve』を中心に」『立命館文学』、第652号、2017年8月
『『太陽のない街』の翻訳と伝播: “Die Straße ohne Sonne”(独訳)を中心に』『日本近代文学』第88集、2013年5月



IACOB Viviana (ヤコブ・ヴィヴィアナ)

高等学術研究センター(ソフィア、ブルガリア) 特別研究員
演劇史(20世紀)
主著: “Theatricality and Socialist Realism in Romanian Theatre 1946-1963”, *Studii și Materiale de Istorie Contemporană*, Vol. 15, 2016
“Performance as Ideological Weapon: Transferring the New Man on Stage” *Studia Politica*, Vol. XV(2), 2015



田村容子 (たむら・ようこ)

金城学院大学 文学部 教授
中国文学、演劇
主著: 『ゆるるおっぱい、ふくらむおっぱい 乳房の画像と記憶』(共著)岩波書店、2018年
『中国文学55のキーワード』(共編著)ミネルヴァ書房、2016年

ディスカッション



石川 禎浩 (いしかわ・よしひろ)

京都大学 人文科学研究所 教授
中国近現代史
主著: 『赤い星は如何にして昇ったか—知られざる毛沢東の初期イメージ』臨川書店、2016年
『革命とナショナリズム(中国近現代史第3巻、1925-1945)』岩波書店、2010年



尹 芷汐 (いん・しせき)

名古屋大学大学院 人文学研究科 博士研究員、愛知淑徳大学 創造表現学部 非常勤講師
日本近現代文学(大衆文学・日中比較)
主著: 『文化外交をする女性たち—1980年代の「日中友好」連環画』『連環画研究』2017年2月
『「日本の黒い霧」の再評価—中国における翻訳を通して』『松本清張研究』2014年3月

司会・主催



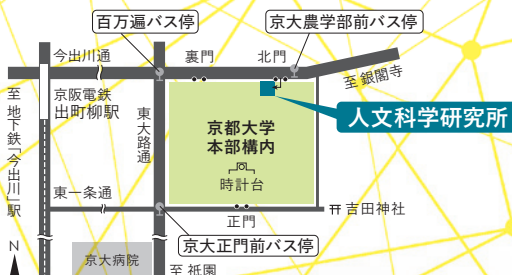
PAȘCA Roman (パシュカ・ロマン)

神田外語大学 日本研究所 専任講師
日本哲学
主著: “The Dialectic of Multiple Modernities in Japan”, *New Ideas in East Asian Studies - Special Edition: Critique of/in Japanese Studies*, 2017
“Homo Naturalis: Andō Shōeki’s Understanding of the Human Being”, *Critical Perspectives on Japanese Philosophy (Frontiers of Japanese Philosophy 8)*, 2016



HOLCA Irina (ホルカ・イリナ)

京都大学 人文科学研究所 専任講師
日本近現代文学(自然主義文学、私小説)
主著: 『島崎藤村 ひらかれるテキスト—メディア・他者・ジェンダー』勉誠出版、2018年
“Romania and Japan: Real and Imaginary Encounters at the Turn of the 20th Century”, *Annals of the Faculty of Foreign Languages and Literatures, “Dimitrie Cantemir” Christian University*, Vol. 16 (1), 2016



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分
●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分 / 17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
いずれも京都大学北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

●連続セミナー

「技芸の伝統と学問： 中国ユネスコ無形文化遺産」

講師 | 武田時昌 / 長野仁 / 名和敏光 / 麦文彪

日時 | 2018年9月14日(金)、9月21日(金)、9月28日(金)
10月5日(金) 18:30~20:00

場所 | 人文研本館 セミナー室1

予告